

I C T 推進課

小原健稔

社会環境の変化に伴い、I C T（情報通信技術）の活用が急速に進んでおり、病院経営においても、より質の高いサービスを提供できるよう、積極的なシステムの導入、体制整備等その活用推進が求められており、こういった背景のもと下記業務を主務とする部署として2020年7月に設立されました。

- 新たな情報通信技術の導入や活用推進
- 新たな情報システム、ネットワークの運用管理
- 情報セキュリティ対策、強化
- 業務効率化に向けたI C T技術の利活用と推進

主な活動

・web 会議システムの拡充

新たな感染症の拡がりを受け、学会や研修、講演会等の様式が大きく様変わりしました。それまで一カ所に集まり、討議、討論していたものから参加者各々自施設からパソコンとインターネットを使ってweb 会議に参加するという形に変わりました。

近森会においてもこういった社会の流れに対応すべく早急にweb 会議システムを導入しました。またその後の院内ニーズを踏まえ、第2期拡充にて、リハ、オルソ、外来センターへの同設備の設置、利用頻度の高い管理棟ではさらにweb 会議設備を1室追加し2室同時利用できる体制としました。



・院内講演会の web 配信

近森会では従前から院外から講師を招き、講習、講演を行ってきました。また、聴講者は院内に限らず、院外、一般の方も含まれる講演会も実施しています。これら講演会も感染対策のため、会場への入場制限がかかり、「参加したくても参加できない」背景が生まれました。

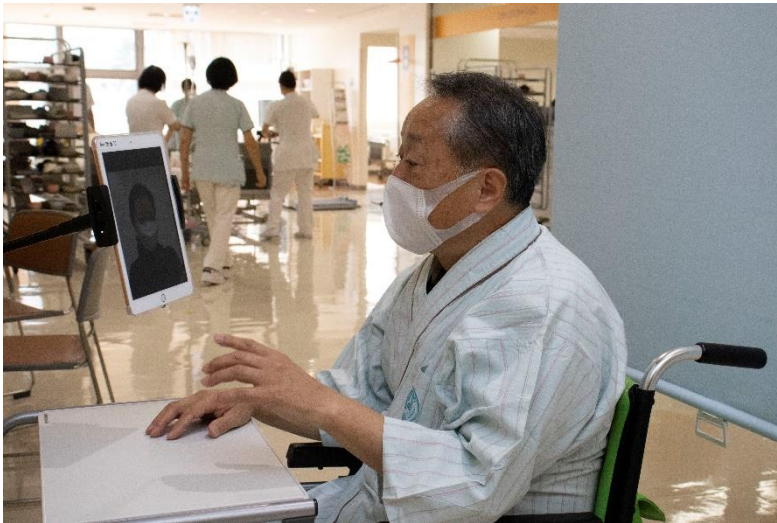
このため、「会議室で講演している様子を web 上でライブ配信を行う」取り組みを行いました。会議室でプロジェクター投影される資料を web 参加者にも見えやすく、かつ講師の声や会場参加者の質問も共有でき、現地参加に近い環境を提供する事に注力しました。



・ビデオ通話アプリを使った web 面会

感染対策は医療現場にも大きな影響を与えました。近森会においても重症化リスクの高い患者さんをお守りするため、全館「原則面会禁止」体制をとりました。ひとえに「入院中の患者さんをお守りするため」であり、それも理解できていたことですが、面会禁止により患者さんにもご家族にも精神的負担が増加しました。そこで病棟にはタブレットを配布し、ご家族と顔を見ながら話ができる「web 面会サービス」を開始いたしました。

「病棟スタッフの負担を可能な限り削減すること」「家族側も容易に利用できること」を主軸にアプリや使用機器の選定、運用方法を策定しました。病棟や受付事務部門には負担をかける形となりましたが、それでも「患者さんにご家族をつなぐ」事の必要性を訴え実現に至りました。



総括

2020年に設立された当課は電子カルテ管理課をはじめとする管理部の各部署、診療現場のスタッフご協力のもと、業務を遂行してまいりました。今後も関連部署との連携を強化し、現場ニーズに耳を傾けつつ、新しいIoTデバイスや5Gに代表される高速大容量の通信規格についても常に情報収集を心がけ、費用対効果の高い技術については、速やかに診療現場に届けられるよう努めていきたいと思っております。